



2年学年だより

発行日：令和4年10月31日（月）

発行者：横浜市立南高等学校附属中学校

校長：遠藤 広樹 NO. 6

「経営」について考えよう

校長代理 冨樫 哲一

10月3日（月）から10月14日（金）までの2週間、本校で秋の教育実習が行われ、3名が本校で実習を行いました。本校では、教育実習については本校の卒業生のみを受け入れているため、南高・南高附属中の先輩が久しぶりに母校に帰ってきて、後輩に授業等を行うということになります。

長く南高附属中に勤務している先生の中には、自分の教え子だった、もっというと自分が担任をしていた生徒が実習生として南高附属中に帰ってきたケースもあったようです。先生方としては、少し気恥ずかしい感じもするそうですが、“元教え子”の成長した姿を頼もしく感じたり、自分と同じ横浜市の教員を目指して教育実習に来ていることに喜びを感じたりしているとのことでした。

今現在、南高校には皆さんの先輩（第1期生）が実際に教員として本校に勤務しています。その先生も昨年の春に本校で教育実習をしていました。中学生の皆さんの中からも、高校卒業後に本校に教育実習に来て、さらに、いつの日か横浜市の教員として一緒に働いていく人がでてきてもらえたら、本当にうれしいことです。

さて、教育実習生への講義として私は、「学校経営」についての話を依頼されることが多いです。今回の教育実習でも、実習初日の一番最初の時間が私の学校経営の話となりました。

「よい授業をしたい」「生徒に寄り添った教育相談をしたい」「担任としてクラスをまとめていきたい」といった夢をもちながら教員を目指す実習生の皆さんに、いきなり学校経営の話をして、自分のこととしてとらえてもらうのは難しいと思っています。そこで私は、学校経営の中でも「経営」の考え方に重点をおきながら説明をすることにしています。それは、「経営」はどんな人にも必要な考え方だからです。

具体的には、「経営」について、「時間やお金や体力のような資源は無限にあるわけではなく、必ず限りがある。どのようにそれらの資源を配分していけばよいかを考えていくのが経営であるが、その資源配分が適正かどうかを判断するためには目標設定が重要になる」ということを毎回伝えています。

経営する単位は人によってそれぞれです。私が経営するのは「学校」という単位ですが、担任の先生であれば「学級」が経営の単位になります。教育実習生も学級担任になればすぐに学級経営をしていかなければなりません。学級経営をするためには、まずは学級目標を設定して、その目標を達成するために、先ほどお話した、時間や人などの資源を適正に配分していかなければなりません。

もっといえば、私たち個人について考えてみると、自分という人間を自分で「経営」しているということができないのではないのでしょうか。やっぱり、お金や時間や体力などの限られた資源をどう配分していくかが幸せな人生を送るためには重要となります。ここまで読んで、勘のよい皆さんは気付いたかもしれません。そうです。先ほども述べたように、やっぱり自分を「経営」するためにもまず何よりも必要なのは「目標」なのです。

自分が幸せだと感じる人生を送るための「目標」はそれぞれ違うことでしょう。ほかの人の「目標」に合わせる必要は全くありません。もしかしたら中学生の皆さんは自分の人生の「目標」はまだ設定していないのかもしれませんが、ぼんやりとでもいいので早めに「目標」を定めることをおすすめします。

「もし目標が途中で変わってしまったらどうしよう」と心配する人も皆さんの中にはいるかもしれません。しかし、環境や社会状況の変化などで「目標」が変わってしまうことは企業などではそれほど珍しいことではありません（もちろん学校も含まれます）。まずは、進むべき方向である「目標」を定める。そしてその「目標」に向けて進んでいく中で、現状や周囲の状況にあわせて「目標」を再度吟味し、必要に応じて変化させるとともに、資源の配分の仕方を考え直す。こうした営みは「経営」の中でも重要な要素なのだと考えています。

改めて皆さんに聞きたいと思います。皆さんが幸せ人生を送るための目標は何ですか。その大きな目標を実現するために、南高附属中にいる今、皆さんが持っている時間などの資源をどうやって使っていきますか。

English Camp を終えて

「We Can Enjoy English Camp」というスローガンのもと、10月19日(水)～21日(金)にかけて、本年度のイングリッシュキャンプが実施されました。みなさんが楽しみにしていた、中学校に入学して初めての宿泊行事です。夏に行われた TGG での英語集中研修からの良い流れを引き継ぎ、御殿場の地でイングリッシュキャンプ実行委員会が中心となって、学年全体の力で今回の宿泊行事をつくり上げることができたのではないかと思います。

心配された(?)天候にも恵まれ、気持ちの良い青空のもと、意欲的に活動するみなさんの姿が大変印象的でした。普段の学校生活では一歩踏み出せなかったことも、今回の行事で頑張っって踏み出せた人。友人の新たな一面を知り、これまで以上に関係を深めることができた人。英語の学習に対する意欲がさらに高まった人。御殿場の地で得たものはそれぞれ異なっているかもしれませんが、その一つひとつが自分自身を成長させる貴重な財産です。今回の宿泊行事で得たその前向きな力を、これからのより良い学年形成へと様々な形で活かしていってくれることを願っています。

それでは、みなさんから集まった今回の行事の振り返りを少しずつ紹介したいと思います。



気持ちの良い青空のもと、富士山をバックに1枚！

【お詫び】

保護者の皆様、「2年学年だより 10月号」の発行が遅れましたこと、心よりお詫び申し上げます。大変申し訳ございませんでした。

🎬 CLASS 1 🎬

First day, I was surprised when I saw instructors. Because they are all very very funny. So I couldn't talk well to them. But 2nd day, I could talk well to them better than first day. I was happy. For example, at Law ropes, we have to do everything with team, but we were able to communicate well, because we did our best! I want to do my best forever.



Before the English camp, I was sometimes quiet when I take English class, but during the English camp, I talked many. I was happy to meet instructor, and talk everyone. I want to talk more than before in class, too.

御殿場について、最初はインストラクターさんのテンションに凄くびっくりした。けれど、3日間、時と空間を共に過ごしたら、慣れていて、とっても楽しかった。皆でマッシュマロを食べ、布団の中でお話をして…最後は御殿場から去るのが少し名残惜しかった。ずーっとあの時間が続いて欲しいな。と思った。そして、「もっと英語を話せるようになりたい！」と感じた。今はまだ、単語の知識量も少ないし、文法もきちんと成り立っていないけれど、絶対いつか、笑いながら話したい。学年では、団結力だけでなく、スタンス発表を通して、「一つの物事に、皆の知恵を振り絞ってより良いものを作り上げる力」がとてつとついたと思った。インキャンを通じて、様々なことを学んだ。イングリッシュキャンプを支えてくれた先生方、委員の方々、インストラクターさん、仲間、本当にありがとうございました。感謝しかありません。

🎬 CLASS 2 🎬

何か一つのことに向かって沢山の人が一生懸命になり、団結して行動出来たのが良かったと思う。自分自身は、英語を上手く話すことは出来なかったけど、インストラクターの人やみんなの話に相槌を打ったり言葉を返したりすることで、コミュニケーションをとる(話に参加する)ことが出来た。また、インストラクターさんを通していつもより沢山英語に触れることが出来たのではないかなと思う。英語が得意な方ではないので、グループ活動はちょっと心配だったけど、インストラクターさんが(英語だけ)分かりやすく説明してくださり、不安とかがなくなって自然と楽しむことが出来た。

普段の授業や日常生活よりも、もっと英語を積極的に話そうという意思をもってインキャンに挑むことが出来たと思う。それによって、英語を通して会話や活動をすることの楽しさを身をもって実感することができた。インキャンのおかげで関わったことがない人とも関わることができて、学年全体の絆を深めることにも繋がったと思う。



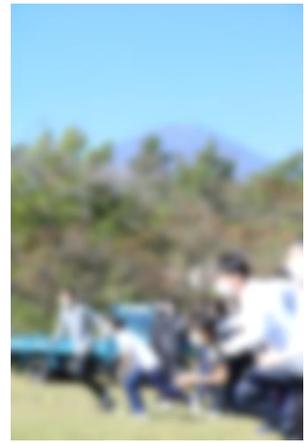
インキャンは、ネイティブの人と英語を話せる貴重な機会というのはもちろんのこと、初めて友達と寝食を共にするという機会でもあったので、より楽しく活動することができたと思う。部屋班の人とトランプで遊んだり、お風呂に入ったりと学校ではできない新鮮なことばかりで、とても充実した3日間だった。また、集団意識をもって、マナーやルールを守って行動するという経験もでき、自分にとって得られるものが沢山あった最高のインキャンになったと思う。

CLASS 3

最後にインストラクターさんが言っていたように、英語はただの言語ではなく、私たちの世界を広げてくれるものだと感じた。英語を学ぶことで、将来自分のやりたいことができるようになるかもしれないということを考え、今後さらに学んでいこうと思った。

4つのアクティビティ全て楽しく、色々なゲームを知ることができた。その中でも、私は特にローロープスが思い出に残っている。私はあまり自然に囲まれた中で遊んだことがなかったが、ローロープスでは、木とロープを使って自由自在な遊びがあり、とても楽しかった。チームやグループで協力することが多く、みんなでどうしたら良いのか考え、アイデアを出し合い、クリアできたときは達成感でいっぱいになった。

インキャンに行く前は、ずっと英語を使うアクティビティや発表に不安が大きかったけれど、ハイテンションなインストラクターさんのおかげで、最後まで楽しくやり遂げられ、不安なことでも一歩踏み出して挑戦してみることは大切だと改めて感じた。



私は English Camp を通して、友達との仲を深めることができました。活動班のメンバーは、ほとんど話したことがなかったので、最初は不安だったけれど、活動するうちに、楽しく話せるようになりました！積極的に質問をしたり、インストラクターさんにたくさん話しかけたりして、英語力をアップさせることができたと思います。

私の一番の思い出は、マシュマロを食べたことです。火があたたくて、星はきれいで、マシュマロはおいしくて、最高の思い出になりました。インストラクターさんの“Don't die!”がおもしろかったです。また、誰かがくしゃみをしたときに、インストラクターさん達が、“Bless you!”と言っていました。教科書で学習したことが、実際に使われているのを感じることができて、なんだか嬉しかったです！英語の勉強をもっと頑張りたいと思いました！

CLASS 4

ローロープスや、チームビルディングは特に自然に英語を使いながら協力できたと思う。目隠してボールを当て合う活動は、みんなの動きが面白くて笑っぱなしだった。英語も積極的に使えるようになってきて、自分から楽しみにいくことって大事なんだなと気付いた。当事者意識というか、自分からやってみようと思って行動できたと思う。「誰かがやるからいいや。」じゃなくて、10人しかいない環境のおかげで、自分の積極性を高められた。



学年としてもまとまりやつながりが強くなったと感じる。どんなことでも盛り上がったたり、本気で取り組めたりできるのが学年のいい所だと思うから、これからも伸びたいいなと思う。

とにかく楽しんだ。先生にきいた通り、英語を話す力がかなり上がったと思う。始まる前は少し心配だったけど、すぐに面白くなってすごく楽しかった。また、初めて会う人と3日間過ごしたが、すぐに話せるようになり、一緒に体を動かしながら英語に触れていくことで充実した3日間となった。

個人的には話せる英単語も増えたが、それ以上にコミュニケーション能力が上がったと思う。積極的にインストラクターさんと話すようにしたことで今までより自分の伝えたいことが伝えられる様になったと思った。そこが成長した点だ。また、小学校の3度の宿泊では全てケガをしていたが、安全に終わられて良かった。

English Camp、すごく楽しかったです。ありがとうございました。

【ひめのひとりごと】イングリッシュアドベンチャーの方が「シャイな生徒がいなくて、積極的でとても良かった。これからが楽しみです。」とおっしゃっていました。青少年の家のスタッフさんからも「宿舎の使い方が良い。」とお褒めの言葉をいただきました。皆さんの底力を見た思いです。